

(様式2)

学校関係者評価報告書

(愛媛県立松山中央高等学校)

学校番号 (23)

評価実施日		令和5年2月22日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	松本 達也	松山東雲大学元教授	
	高岡 英二	松山市立南中学校主幹教諭	
	藤岡 徳子	松山市青少年育成支援委員	
	池田 和広	松山中央高等学校教育後援会長	欠席
	飛地 明國	松山中央高等学校PTA会長	欠席

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 重点努力目標・マニフェスト</p> <ul style="list-style-type: none">・数値目標で昨年度「年間読書冊数6000冊以上」となっていたのが「生徒一人当たりの読書冊数10冊以上」とより現実的になったのは、実現性を考慮すると、好ましい変更になっている。	<ul style="list-style-type: none">・生徒がわかりやすい形で目標を設定して取り組ませることを今後も心掛けていきたい。
<p>2 自己評価表</p> <ul style="list-style-type: none">・14の評価項目のうち、5項目が昨年度より改善された評価がなされているのは、先生方のご努力の結果であろうと思うが、1項目【規範意識の高揚】だけは残念ながら「D」評価であった。	<ul style="list-style-type: none">・ゆとりを持った安全登校のため、8時15分までに登校することを呼びかけているが、遅れる生徒が昨年度よりも一日平均で約5人増加した。様々な理由が考えられるが、まずは基本的な生活習慣の確立をHRや講話等の機会あるごとに繰り返し呼びかけていく。
<p>3 教職員学校評価アンケート集計結果</p> <ul style="list-style-type: none">・全体としてほぼ昨年度と同じ評価であり、概ね良好であると思われる。・「業務の効率化を図り、時間を有効活用できている」が1項目だけ69点で、昨年度と同じであるのは、今後の課題であろう。	<ul style="list-style-type: none">・問題点を早期に発見し、改善していきたい。・部活動の指導の在り方や業務負担の軽減を進めることで時間超過の改善を図りながら、教職員の働きがいを高めていく働き方改革に取り組んでいきたい。
<p>4 保護者学校評価アンケート集計結果</p> <ul style="list-style-type: none">・「保護者が教職員に気軽に相談できる雰囲気がある」について、D(できていない)が3.4%あるのは、今後気を付けていただきたいところである。	<ul style="list-style-type: none">・保護者との信頼関係が築けるよう、普段から連絡を密にすることを心掛けたい。また、保護者が相談しやすくなるよう、教育相談課の取組についても、様々な機会を利用して具体的に周知していきたい。
<p>5 生徒による授業評価アンケート集計結果</p> <ul style="list-style-type: none">・ほとんどの項目で高い評価が得られているのは、生徒が満足して授業を受けていることの証左であると思われる。ただ、ほんの数科目8点以下のものが見られる。「各教科による授業評価アンケートの分析と改善策」は毎年是非やっていただきたい。その中で、先生方の授業に対する取組の姿勢が浮かびあがってくると思う。	<ul style="list-style-type: none">・授業評価アンケートの結果をうけて、各教科で改善策等は十分話し合われている。また、相互参観や研究授業を通して、授業改善に努めている。「分析と改善策」を目に見える形で共有できるようにしていきたい。